

2024年度 TLPロシア語研修プログラム募集要領

トライリンガル・プログラム（TLP）ではプログラムの一環として、2025年2月末から3月中旬に15日間程度のロシア語研修をアルメニア共和国のイェレヴァン市などにて行う予定です。

このプログラムはロシア語の特訓とそのよりよい理解のために行われるもので、資格を持つ学生に奮って応募していただきたいと思います。

つきましては、下記の要領で選抜を行います。

- (1) 資格：2023年度、ロシア語を初修外国語として履修していた現2年生（2年Sセメスターでもロシア語の授業を履修していることが望ましい）。パスポートを所持していない者は応募の際にかならずその旨を伝え、面接試験までにならず取得手続きを開始していること。
- (2) 選抜方法：筆記試験と面接（ロシア語による試問含む）。1年生時の授業態度も考慮する。試験範囲は、1年生時の共通教材『ロシア語をはじめよう』第20課まで。筆記試験に基づき第一次候補者を選抜し、メールで連絡する。その後の面接でもって最終的に決定する。
- (3) 選抜日程：
筆記試験 10月23日6限（於駒場キャンパス、40分程度）を予定。合格者には後日面接試験を行う。
面接（オンライン） 10月25日、10月28日、10月29日の6限の時間帯（一人10分）
- (4) 費用：経費総額は35～40万程度の見込み（為替レートや航空運賃の変動による増減の可能性あり）。8-10万円程度の奨学金を支給予定（金額は目安）。
- (5) 注意：
 - ① 出国から帰国まで、全期間の参加以外は認められない。途中参加、途中退出、現地での合流は認められない。
 - ② 選抜後、自己都合による辞退は認められない（キャンセル料などが自己負担となる）。
 - ③ 現地では単独行動は認めない。他者と協調性のある、責任感を伴う行動をとることができない者は申しこめない。
 - ④ 研修前のガイダンスの参加、研修後のレポートの提出は義務とする。違反が認められた場合、奨学金の全額返還を求める（その場合、保護者に連絡をとることもありうる）。
 - ⑤ 宿泊先で二人部屋になることがある。一人部屋を強く希望する人は事前に申し出ること。
- (6) 応募方法：希望者は、10月14日23時までに、ロシア語部会の鳥山祐介 toriyamayusuke[at]g.ecc.u-tokyo.ac.jp、渡邊日日 watanabe[at]anthro.c.u-tokyo.ac.jp、浜田華練 hamadakaren[at]g.ecc.u-tokyo.ac.jp まで（どちらも[at]を@にかえて）三名宛てにメールすること（メールは三通に分けず、宛先に三名を入れて1通のメールとすること）。応募メールには氏名、パスポート上の表記通りのローマ字、生年月日、学生証番号を記すこと。応募者に対しては、確認の返信メールを送るので確認のこと（48時間たっても返信メールがない場合は再度メールを送ること）。返信メールは選抜試験の受験票となるので、選抜試験当日それをA4用紙に印刷して学生証と共に持参すること。

2024年10月8日
教養学部ロシア語部会